

女夫石遺跡発掘調査速報

No.18

今回は10月21日(土)に開催した体験発掘の様子を紹介します。女夫石遺跡で体験発掘を開催するのは2回目です。どんな土器がでてくるかみんなワクワクしていたみたいです。前回と同様に「縄文土器拓本しおり」も好評でした!

発掘調査が終了して、工事がはじまると、今掘っている場所は二度と見る事ができなくなってしまいます。体験発掘に参加した皆さんの心の中に永く残ってもらえたらうれしいです。

あと、10月27日(金)には甘利小学校の3年生のみんなが、韮崎市民俗資料館に社会科見学に来ました!はじめてくるお友達も多かったみたいです。昔の道具や大きな水車にみんなビックリしていたみたいです。それにしても3年生のお友達はみんなバワフルです。おじちゃんは大倒されてしまいました!みんなまた遊びに来てね!



大きな水車や屋敷の上にお蔵の乗っかっている韮崎宿に昔あった「蔵屋敷(くらやしき)」の説明にみんな驚きの様子です。水車は全国でも最大規模クラスのものなんです。これが実際に動いていたら本当にすごいですよね。これはもともと藤井平にあったものです。さすが「藤井平五千石(ふじいたいらごせんごく)」の穀倉(こくそう)地帯ですね。



左写真
親子3代で体験発掘です。何がでてくるかな?大きな土器は発見できるかな?地面から土器が出てくるとみんなビックリしていました!

右写真
発掘調査で出てきた土器の顔を見学しているところです。顔には模様が入っています。縄文人は顔にイレズミやボディペインティングでもしていたのでしょうか?



ズリ: 今日(21日)はたくさんの親子が来てるね。女夫石遺跡で2回目の体験発掘調査をしてるんだってさ!

マキ: 今回も、みんなワクワクしながら発掘調査に参加しているみたいだね。この前の時よりもさらに古い時代の層を掘っているんだってさ! 模様も複雑だよ!

ズリ: この前のときは模様が「ハ・ハ・ハ」の馬鹿笑い土器(速報No.4参照)だったけど、今回は立体的な模様の付いた土器が多いみたいだね。下の地層から出てくるからこの前よりも古いんだね。

マキ: 馬鹿笑い土器は曾利式(そりしき)土器っていう名前前で、今回は勝坂式(かつさかしき)土器っていう名前前で呼ばれているらしいよ。

ズリ: みんな、土器が発見できてうれしそうだね。

マキ: 今回も女夫石遺跡でてきた本物の縄文土器の拓本をとって、しおりにするんだってさ!

ズリ: 少しずつ浮かび上がってくる女夫石縄文人の使った土器の模様にみんな感動しているね!(つづ)